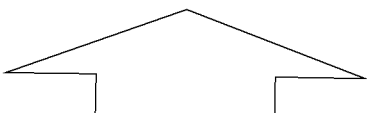


経営戦略(第4期中期経営計画)見直し骨子(案)

章	項目	項目の内容
経営戦略		
第1	計画策定の趣意	1 計画策定の経緯と背景 2 計画策定の目的 3 計画期間
第2	各事業における現状と課題	1 職員の状況 2 工業用水道事業 (1) 現況(給水能力等・施設の状況) (2) 施設・管線の全面更新 (3) 経営の状況 (4) 課題 3 水道事業 (上水に同じ) 4 地域振興整備事業 (1) 現況 (2) 経営の状況 (3) 課題
第3	経営理念と経営の方向性	1 経営理念 サービスマイスター体制の充実と経営基盤の強化 ○上水・水道事業:良質な工業用水や安全・安心な水道水の安定的な供給 ○地域振興整備事業:工業用地等の造成・供給を通じて県内産業及び地域振興に寄与 ○こうした重要な役割を担って来たことから、独立採算を原則として経営に当たっていく。 2 経営の方向性 ア 人材の育成と組織体制の充実 イ 適任者による経営管理の実施と施設・管線の計画的な更新 ウ 経営基盤の強化 エ 地域振興整備事業 オ 多岐な企業ニーズに対応した工業用地の適時・適切な供給 イ 新たな事業展開と経営の健全性の確保
第4	各事業の行動計画	1 課題と行動計画一覧 2 工業用水道事業(具体的取組と数値目標) 3 水道事業(具体的取組と数値目標) 4 地域振興整備事業(具体的取組と数値目標)
第5	経営削減の取組	1 施設整備費の削減 2 運営コストの削減
第6	財政収支計画	改革の取組を踏まえた各事業の60年間の収支を見据えた上での10年間の計画(1R9-R9)
第7	計画の推進	1 進行管理 2 計画推進方策 3 計画の検証と評価 4 進捗状況の公表



項目	項目の内容	見直しの考え方
計画策定の趣意	1 計画策定の経緯と背景 2 計画策定の目的 3 計画期間 4 実行計画と同一R9～R9とし、R4以降を見直し(確定)	・経営戦略の見直しの必要(経営状況や環境の変化等)を記載 ・県の総合計画(見直し)にあわせ、令和4年度から現行戦略の計画期間の終期となる令和9年度までの見直し
各事業における現状と課題	1 経営環境の変化と課題 (1) 現況(給水能力等・施設の状況) (2) 施設・管線の全面更新 (3) 経営の状況 (4) 課題 (5) 水道事業 (上水に同じ) 2 工業用水道事業 (1) 現況(給水能力等・施設の状況) (2) 施設・管線の全面更新 (3) 経営の状況 (4) 課題 (5) 水道事業 (上水に同じ) 3 水道事業 (1) 現況 (2) 経営の状況 (3) 課題 (4) 課題	○「経営環境の変化と課題」として、戦略策定後の環境変化とそれに伴う課題を抽出 ・新型コロナウイルスの感染拡大 ・脱炭素社会に向けた取り組み ・DXによる変革 ・激化する自然災害等 ・「14年間の事業評価」として行動計画の実績評価と新たな課題提起
経営理念と経営の方向性	1 経営理念 サービスマイスター体制の充実と経営基盤の強化 ○上水・水道事業:良質な工業用水や安全・安心な水道水の安定的な供給 ○地域振興整備事業:工業用地等の造成・供給を通じて県内産業及び地域振興に寄与 ○こうした重要な役割を担って来たことから、独立採算を原則として経営に当たっていく。 2 経営の方向性 (1) 工業用水道事業、水道事業 ア 人材の育成と組織体制の充実 イ 適任者による経営管理の実施と施設・管線の計画的な更新 ウ 経営基盤の強化 エ 地域振興整備事業 オ 企業品質向上を活用した継続的な用地供給 イ 地域の財産となる魅力ある新たな用地供給	(2) 地域振興整備事業の方向性(詳細) ・コロナ後の景気回復期における用地需要に迅速に対応するため、産業基盤整備を加速化 ・これまでの造成事業のノウハウや成果を生かすとともに、セミレジティモード方式を活用した「戦略的な候補地選定と企業用地の活用」を先行用地造成により「経済効果の高い工業用地の造成」とし、働いて住んで幸せな「まちづくり」に取り組み、
各事業の行動計画	1 課題と行動計画一覧 2 工業用水道事業(具体的取組と数値目標) 3 水道事業(具体的取組と数値目標) 4 地域振興整備事業(具体的取組と数値目標)	第2で行った課題の見直しを踏まえ、行動計画・数値目標を見直す
経営削減の取組	1 基本改革(1,000戸の改革) ・管線2車化 ・車線・富士山の統合 ・緑面の統合 2 インバージュンエネジメント ・電気料 ・排水処理 ・副・PE1 ・.....	○経費削減→経営革新 本格的な施設更新の時期を迎え、莫大な更新費用が必要となるため、廉価な田水を安売供給するために引き続き経営革新を推進 ・基本改革として60年間で建設投資△1千億円を目指す ・職員の創意工夫等により経営改善を図り、インバージュンエネジメントとして毎年△4億円を目指す ・職員の首肯を得て、経営革新の原動力とする ・企業向全体のリアルアプレスのため以下のサイトを循環 →タスクフォースや日常業務を通じて職員の工夫の促し →アクションアプレ →好事例により周囲の職員を啓蒙
財政収支計画	改革の取組を踏まえた各事業の60年間の収支を見据えた上での10年間の計画(1R9-R9)	・△1千億円の基本改革を反映させた長期修繕改良計画に基づき試算
計画の推進	1 進行管理 2 計画推進方策 3 計画の検証と評価 4 進捗状況の公表	